

令和5年度第1回江別市廃棄物減量等推進審議会議事録

日 時	令和5年7月7日（金）13時30分～14時30分
場 所	江別市民会館 2階 21号室
出席委員	浅川会長、北川委員、河野委員、金委員、佐藤委員、名古屋委員、日高委員、中井委員、森田委員、森山委員、吉田委員（11名）
欠席委員	井上委員、星委員
事務局	近藤生活環境部長、斉藤生活環境部次長、谷口環境室長、山崎廃棄物対策課長、岡山施設管理課長、中村廃棄物対策課主幹（計画推進担当）、石川施設管理課主幹（設備担当）、渡邊指導係長、佐々木減量推進係長、西川施設係長、岡田減量推進係主任、奥泉減量推進係主事（12名）
欠席職員	坂本庶務係長
傍聴者	1名
会議次第	1. 開会 2. 委員・職員の自己紹介 3. 正副会長の互選 4. 会長挨拶 5. 議事（議題） （1）報告事項 ① 江別市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について （2）その他 6. 閉会
配布資料	・資料1 江別市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について ・その他 次第、委員名簿、担当職員名補、令和4年江別市清掃事業概要、江別市食品ロス削減推進計画冊子・小学生用パンフレット

▼会議内容

【委嘱状交付】

【市長あいさつ】

○後藤市長

改めまして皆さんこんにちは。市長の後藤でございます。

今ほど委嘱状を交付させていただきました。これから2年間、江別市廃棄物減量等推進審議会委員として、皆様方には色々なことを審議していただくことになろうと思っております。ぜひともよろしくをお願いします。

令和2年から新型コロナウイルス感染症の影響で、外出控えに伴う巣ごもり需要が高まり、家庭系のごみが増え、事業系のごみは減量傾向でしたが、今年5月に2類から5類となり季節性インフルエンザと同じ扱いになってから、また少しずつ元の状況に戻りつつある状況にあります。しかしながら、ごみはどうしても減らしていかなければならないと考えております。

ゼロカーボンという形で、二酸化炭素の排出量を抑えようという今、ごみの減量化は非常に重要になってきているところでございます。ぜひとも、ゼロカーボンを進める上でも皆様方にはご審議いただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

市としましては、令和4年度に江別市食品ロス削減推進計画を策定しました。これは、食べられるものをきちんと食べ、必要以上の食品を買わないようにして、食品ロスをなくしていこうという計画でございます。計画を進めることで、ゼロカーボンにも資するものがありますので、ぜひ

ひとも推進していきたいと考えております。

また、昨年度から開始した江別市環境クリーンセンターの延命化工事について、令和7年度まで3年間工事を行います。延命化により、今の分別のまま、ごみの排出をお願いすることになります。環境クリーンセンターが、いずれ新しい施設に更新する時期には、新たな分別が必要になる等、市民の方々にはご不便をおかけするかもしれませんが、そういった検討も必要になります。その際には、皆様方にご意見をお聞きすることになると思います。江別市一般廃棄物処理基本計画の中でも、ごみの最終処分場の新たな建設について審議の場面も出てきます。

また、ごみの安定的な処理を目指すためにも、適正なごみ処理の手数料はいくらになるのかということ、皆様方にご審議いただくことになると思います。

このほか、市民のニーズを踏まえた効率的なごみの集め方や、紙おむつの収集についての検討課題が出てきています。お子様だけではなく、高齢者にも紙おむつを使っている方がいらっしやいます。こういった方々の負担軽減をどうするべきか検討していかなければならないと考えています。ぜひとも皆様方には、生活者の視点、あるいは事業者の視点といった様々な観点からご審議をいただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

是非ともこの2年間、よろしく願い申し上げます。

## 【開会】

○山崎廃棄物対策課長

それでは、これより会議を進めさせていただきます。

はじめに、当審議会についてご説明申し上げます。審議会につきましては、ご案内時に「設置趣旨」を同封させていただきましたとおり、市長の諮問に応じて廃棄物に関する事項を審議答申するほか、必要に応じてご意見をいただくものであります。よろしく願いいたします。

次に、本審議会は、江別市廃棄物の処理及び資源化・再利用の促進に関する条例施行規則第4条の規定により、過半数の委員の出席をもって成立することとされており、本日は、定数13名のうち11名の出席があり、本審議会は成立していることをご報告させていただきます。

## 【委員・職員の自己紹介】

○山崎廃棄物対策課長

次に、改選後初の審議会ですので、委員のご紹介を行いたいと思います。本来、私どもから紹介すべきところですが、自己紹介の形とさせていただきたく、よろしく願いいたします。委員の皆様から、お名前とともに所属などを簡単に結構ですので、席順に従って一言ご挨拶をお願いします。

(委員自己紹介)

○山崎廃棄物対策課長

続きまして、本日出席の職員を紹介させていただきます。

(職員紹介)

## 【正副会長の互選】

○山崎廃棄物対策課長

正副会長の互選に移ります。江別市廃棄物の処理及び資源化・再利用の促進に関する条例施行規則第2条の規定によりまして、本審議会に会長及び副会長をそれぞれ1名置き、委員の互選により選出することとなっております。選出にあたりまして、皆様からご意見があればお願いしたいと思います。いかがいたしましょうか。

特にご意見がないようなので、事務局といたしまして、事務局一任ということで、提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

はい。ありがとうございます。

それでは、事務局案といたしまして、従前から、その経験や選出区分などを踏まえまして、会長には学識経験者の大学関係者から、副会長には民間諸団体の自治会関係者からそれぞれ選出してきておりますことから、会長には浅川委員を、副会長には本日まだいらっしやっておりますが、井上委員をご推薦させていただきたいと考えますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)。

異議なしという声をいただきましたので、浅川委員、それから井上委員にそれぞれお願いしたいと思います。浅川委員よろしいでしょうか。

○浅川委員

はい。

○山崎廃棄物対策課長

ありがとうございます。井上委員には後程ご連絡を取って、了解を得たいと思います。

それでは、会長は浅川委員、副会長は井上委員に決めさせていただきます。浅川会長には中央席にお移りいただき、ご挨拶をお願いいたします。

○浅川会長

皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。新しい体制の審議会となりました。今年度は、先ほど市長からのご挨拶にもありましたように、やらなければならないことがかなり多い審議会になると思っております。特に、ごみ処理手数料の適切なあり方等を検討しなくてはいけない段階にきているということが、前回の審議会でも確認されております。色々とお力添えをいただくことになると思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

○山崎廃棄物対策課長

ありがとうございました。市長はこの後ほかの公務のため、これをもって退席させていただきますのでご了承願います。

議事に入ります前に、廃棄物減量等推進審議会の公開につきましてご説明します。江別市では、江別市情報公開条例第18条の規定に基づきまして、市民の制度参画を促進するとともに、公正で透明な市政を推進するということが、審議会等は支障のない限り公開を原則としまして、この審議会でも傍聴者を認めております。また、会議の議事概要として、発言内容、発言者の氏名とともに、市のホームページ等で公開することになりますので、ご了承いただきたいと思いますと考えております。本日は1名、傍聴希望者がおりますが、委員の皆様、入室いただいてよろしいでしょうか。

(傍聴者入室)

○山崎廃棄物対策課長

それでは議事の方に入ります。これ以降の議事進行につきましては、会長にお願いしたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

## ○浅川会長

それでは、以降の審議について、議長を務めさせていただきます。

本日の議題は、報告事項として、はじめに（１）「江別市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について」ということになっております。事務局より報告をお願いします。

## ○中村廃棄物対策課主幹（計画推進担当）

はじめに、江別市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況のうち、ごみの排出状況についてご説明いたします。資料１の１ページをご覧ください。

ごみの排出状況についてであります。表は、左端からごみの区分、①令和元年度実績、②中間目標年度の目標値、③令和４年度実績、令和４年度と令和元年度比較、右端に令和４年度と中間目標値の比較となっております。

上段は、家庭ごみ量で、可燃、不燃、ごみの小計、市資源物、資源回収、資源物の小計、家庭系合計、中段は、事業ごみ量で、可燃、不燃、ごみの小計、その下に全体のごみ量の総合計、下段に、目標値との比較として、１人１日当たりの総排出量、次に家庭系の排出量、リサイクル率、最終処分率となっております。

令和４年度は、令和元年度と比較して、家庭ごみが１６７トン減、資源物が９２４トン減、事業ごみが４５０トン減、全体で１、５４１トン減でした。また、１人１日当たりでは、総排出量が２７グラム減、うち家庭系が１９グラム減、リサイクル率は２．３％減、最終処分率は増減なしでした。また、令和４年度と令和７年度の中間目標値の比較では、家庭ごみが１、２０８トン上回り、資源物が１、９６８トン下回り、事業ごみが６０９トン上回り、全体では１５１トン下回っている状況です。

また、１人１日当たりでは、総排出量が８グラム下回り、うち家庭系が１９グラム下回っている状況です。リサイクル率は５．４％下回り、最終処分率は０．１％上回っている状況で、全体の傾向としては、集団資源回収で回収している古紙類の減少に伴い、中間目標値を下回っている状況です。

説明は以上であります。

## ○佐々木減量推進係長

次に、私から江別市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況の内、施策の取り組み状況についてご説明いたします。資料１の２ページをご覧ください。

施策の取り組み状況についてであります。表に記載のうち主なものについてご説明いたします。

はじめに、基本方針１ ２Ｒを優先した３Ｒの推進では、１の１、食品ロスの削減の取り組みとして、今年３月に江別市食品ロス削減推進計画を策定し、今年度は消費・賞味期限の近い食品から購入する「てまえどり」活動を啓発するため、ミニのぼりをスーパーマーケットやコンビニエンスストアなどに配布する予定です。

基本方針２ きれいなまちづくりの推進では、２の２、ごみ出しルールの徹底の取り組みとして、ＳＮＳで、日常のごみに関する情報のほか、冬期の自治会排雪や吹雪によるごみの収集情報を提供しています。

基本方針３ 安心して安定的なごみ処理の推進では、３の３、環境クリーンセンターの延命化の実施の取り組みとして、令和４年度から延命化工事を開始し、今年度は、新最終処分場の基本設計に着手しています。

基本方針４ 経済的・効率的なごみ処理の検討では、４の１、適正で効率的なごみ収集運搬体制の取り組みとして、土曜日収集の廃止と農村地区の可燃ごみ収集を週２回に増やしています。

最後に、本年度に取り組みを予定している主な施策について、ご説明いたします。

１点目は、施策３の２ ごみ処理手数料減免方法の検討として、紙おむつの排出負担の軽減について、新たな減免方法を検討します。

2点目は、施策4の1 適正で効率的なごみ収集運搬体制の検討として、更なる適正収集等を検討します。

3点目は、施策4の2 適正なごみ処理手数料の検討として、本年度の江別市全体の「使用料・手数料見直し」に合わせ、指定ごみ袋等のごみ処理手数料の見直しを検討します。

4点目は、これまでの継続事業の検証として、古着・古布及び小型家電の拠点回収事業の見直しを検討します。

この他に、表に記載していませんが、食品ロスの削減に向け、現在、江別消費者協会でも取り組まれているフードドライブ活動を大学と連携して研究する予定であります。

説明は以上であります。

○浅川会長

それでは、ただ今の報告について、委員の皆様からご質問、ご意見等ありますでしょうか。

○吉田委員

資料1の1ページ、リサイクル率と最終処分率というのは、何を何で割った割合でしょうか。

○中村廃棄物対策課主幹（計画推進担当）

リサイクル率は、江別市で集めたごみと集団資源回収で集めた資源物を分母として、実際にそこからリサイクルしたものとクリーンセンターで中間処理された後にリサイクルしたものを分子とし、割り返した数値となります。

最終処分率は、集団資源回収も含めた市内のごみ・資源物排出量全体を分母として、直接埋め立てたものと中間処理して最終処分したものを分子とし、割り返した数値となります。

○吉田委員

そうしますと、資料1にある数値を使って、リサイクル率は計算できますが、最終処分率は計算できないということですね。

○中村廃棄物対策課主幹（計画推進担当）

はい。最終処分率は、今回お配りした清掃事業概要と、先に委員にお渡ししている一般廃棄物処理基本計画より計算することが可能です。令和4年度実績は記載されていませんが、令和3年度以前の数値は記載していますので、後ほどご覧になっていただければと思います。

○吉田委員

ありがとうございます。もう1点よろしいですか。令和7年度の間目標値を決めたときの人口は、どのように考えて算定しているのでしょうか。

○中村廃棄物対策課主幹（計画推進担当）

現行の一般廃棄物処理基本計画は、令和3年3月に当審議会が市長より諮問を受け、策定しています。人口につきましては、江別市まち・ひと・しごと総合戦略で出された数字を基に、令和元年度を基準年度として、10月1日現在の住民基本台帳登録人口を推計しています。

○吉田委員

わかりました。そちらをそのまま令和7年まで使用しているということですね。

○中村廃棄物対策課主幹（計画推進担当）

はい。また、計画では令和12年まで使用しております。

○吉田委員

わかりました。

○浅川会長

ありがとうございました。その他、ご質問やご意見はございますか。

○中井委員

基本的なことになるかもしれませんが、2点ほどよろしいですか。

先ほど、市長のご挨拶等では、ごみの減量が進んでいないという話でしたが、資料を見ますと、中間目標値よりも、令和4年度実績の方がごみの減量が進んでいます。この点について、もっと胸を張って減量が進んでいると言ってもよろしいのではないかと思いました。こちらは意見としてお伝えします。

2点目は、先日の新聞にも出ていましたが、環境クリーンセンター建設の検討で、令和5年度に基本設計を行うことについてです。検討の中で、プラスチックごみの位置付けはどうなるのか教えていただきたいと思います。また、新しい施設に更新する場合、プラスチックごみの分別はいつまでに決めなければならないのかも教えていただきたいと思います。以上です。

○中村廃棄物対策課主幹（計画推進担当）

1点目についてお答えします。一般廃棄物の1人1日当たり総排出量の数値は計画よりも減っていますので、ごみの減量が進んでいないということではありませんが、家庭系区分合計排出量の減量のうち、資源物の減少が占める割合が大きく、可燃ごみ・不燃ごみの割合が小さいものになっています。可燃ごみ・不燃ごみの量を減らすことで初めてCO<sub>2</sub>が削減できるという意味での市長の発言と思います。

2点目、プラスチックごみの分別についてお答えします。環境クリーンセンターは、平成29年に当審議会にて延命化の計画を審議していただき、令和18年まで存続させることとなっています。環境クリーンセンターの特徴として、プラスチックごみも燃やし、そのエネルギーも使い、他のごみを処理するというものがあります。このプラスチックを詳細に分別するとすると、助燃剤として、ある程度、天然資源である石油類等を補充しなければならないということになりますので、現在の分別方法は、当面続けなければならないということになります。

その上で、令和18年以降、新しいごみ処理施設の建設にかかるごみの分別について検討するにあたっては、プラスチックリサイクルの考えを取り入れなければならないと考えております。その時期につきましては、現行の計画は環境クリーンセンターを維持する計画になっていますので、令和12年以降の計画について、この点が考慮されるか、もしくは令和7年度に現行の計画の中間見直しを行いますので、その際にプラスチックごみの分別のあり方について意見交換などが必要になってくると考えております。

○浅川会長

ありがとうございます。それでは他にございますか。

○森山委員

燃料費がこれから高騰していくかもしれません。そうすると、市指定ごみ袋の値上げを検討すると思うのですが、今現在、ごみを燃やすのに1年間でどれくらい燃料費がかかっているのでしょうか。

○中村廃棄物対策課主幹（計画推進担当）

今現在、環境クリーンセンターはプラスチックも燃料にしていますが、いずれプラスチックをリサイクルすることになると、そのエネルギー分、他の化石燃料を投入する必要が生じます。また、他に油脂類、購入している電力、ごみ収集車の燃料代のほか、人件費など、ごみを燃やすための燃料費以外の点も含め、値上げについては総合的に検討させていただきます。

なお、ごみ処理手数料の検討については、一般廃棄物処理基本計画41ページの4-2 適正なごみ処理手数料の検討に記載されています。また、江別市全体で4年に1回、使用料・手数料の見直し作業を進めております。今年がその使用料手数料の見直し作業をする年度で、来年度が見直しをするかしないか判断する年度になります。こちらについては、市全体の財政状況など色々なものを踏まえて判断していかなければいけないと考えています。

○浅川会長

ありがとうございました。それでは、どなたか他にございませんでしょうか。

○河野委員

フードドライブとはどういうものなのでしょうか。

○中村廃棄物対策課主幹（計画推進担当）

フードドライブは、家庭で消費期限が切れそうな食品、もしくはもう食べる予定のない食品を、色々な団体が一旦集めまして、子ども食堂や生活困窮世帯等にお配りすることで、無駄なごみを燃やしたり捨てたりしないという活動になります。

○浅川会長

他にどなたかご発言ありませんか。

（なし）

それでは、本日の第1回審議会をこれで終了とさせていただきたいと思います。  
お疲れ様でした。

**【閉会】**